

「人間ドック・脳ドック」の 受診費用の一部を助成しています



美浦村では、国民健康保険および後期高齢者医療制度に加入されている皆さんの「疾病の早期発見・予防」のために、人間ドックと脳ドックの受診費用の一部を助成しています。

対象者

- ・満40歳以上の国民健康保険加入者のうち国民健康保険税に未納がない世帯の方
- ・後期高齢者医療制度加入者のうち後期高齢者医療保険料に未納がない方
- ※現在医師の治療を受けている方等は、医師に相談のうえ、お申し込みください。

- ◇助成額 ▶国民健康保険 人間ドック…20,000円、脳ドック…25,000円
▶後期高齢者医療制度 人間ドック…15,000円、脳ドック…15,000円
- ◇申込方法 被保険者証・印鑑・総合健診受診券をお持ちのうえ、役場国保年金課窓口へ直接お申し込みください。電話での申込みはできません。
- ◇利用できる健診機関 霞ヶ浦成人病研究事業団健診センター、土浦協同病院予防医療センター、つくば総合健診センター、牛久愛和総合病院総合健診センター、龍ヶ崎済生会総合健診センター、セントラル総合クリニック健診センター、霞ヶ浦医療センター、筑波大学附属病院つくば予防医学研究センター、筑波学園病院健診センター
- ◇受付期間 令和3年5月6日(木)から令和4年3月31日(木)まで ※土・日曜日、祝日は除きます。
- ◇受診可能期間 令和4年3月31日(木)まで
- ※受診当日までに他の健康保険に加入予定の方は、対象外となります。
- 問合せ 国保年金課 ☎029-885-0340 (内線) 116・117

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第7回

美浦村 × SDGs
(エスディージーズ)

持続可能な(SUSTAINABLE)開発(DEVELOPMENT)目標(GOALS)について考えてみましょう

◆ゴール13 気候変動に具体的な対策を



世界中で気候変動が起こっています。2012年までの約130年で、地球の平均気温は摂氏0.85度上昇しました。平均気温が1度上昇すると、穀物の収量は約5%ずつ低下するとされ、1981年から2002年にかけて小麦等の主要作物の収量は全世界で4000万トンという大幅な減少を示しています。2019年、日本の熱帯夜の日数は30年前の2.6倍でした。気候変動がもたらす影響は甚大であり、今一度現状を見直す必要があります。

◆ゴール14 海の豊かさを守ろう



近年プラスチックごみが海に流出し、その数は約年間800万トンとされています。またプラスチックの破片により、毎年100万羽以上の海鳥と10万以上の海洋哺乳類が死んでいます。今日の人間の活動により大気に出される二酸化炭素が増加し、海が以前より多くの二酸化炭素を取り込むことで成分が酸性化する「海洋酸性化」がこのまま進むと、2050年には魚の数よりプラスチックが海に漂う恐れがあるとされ、海洋汚染は深刻です。

◆ゴール15 陸の豊かさを守ろう



現在、多くの生物が絶滅の危機に晒されている状態です(割合として、哺乳類25%、両生類41%、針葉樹34%、鳥類14%)。また異常気象による森林減少、農業のための過度な灌がい、化学物質による汚染等、様々な理由で土壌が劣化しています。劣化すると生態系が保てなくなる上、農業等もできなくなったりと、私たちが生きる為に必要な食糧が失われることに繋がっていくのです。

出典：日本ユニセフ協会 SDGs CLUB

▶次回はゴール16「平和と公正をすべての人に」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」を紹介します。